

龍生園が国内で「悠」認証に

福祉サービスの質を評価され

社会福祉法人大雲会 (谷口サチ子理事長、人吉市下原田町) の特別養護老人ホーム龍生園は、NPO法人Uビジョン研究所(本間都子理事長、東京都)から福祉サービスの質の特別養護老人ホームへ



谷口理事長(左)へ認証証を読み上げる本間理事長

街に次いで2例目。

同研究所は、誰もが最期まで希望を持って生きる支えとなるべき福祉サービスの質の向上を願い、施設を第三者的立場で評価する日本初の介護施設の認証制度を実施している。

認証には、現地の抜き打ち調査や利用者、家族、職員のアンケート調査などを総合し、5つの項目で最優秀から優秀、一部改善、要改善の4段階で評価。1項目でも改善を要する場合は認定されない厳しい制度という。

龍生園は、6月18日から21日までの現地調査を含む約1カ月の事前審査で環境面や笑顔

への対応、入居者に必要な支援の提供の3項目で最優秀、入居者の安全・安心な暮らし、地域との交流の2項目で優秀に認められた。

認証式では、本間理事長が谷口理事長に認定証を授与。施設の壁に各項目を明示したプレートが掲げられ、本間理事長は「九州や熊本では初め、これからモデルになると思う。」

あさぎり町に集って談義

球磨・ひとよし故郷会

第3回球磨・ひとよし故郷会inあさぎりが13日午後6時からあさぎりの町免田東のS A K A B A R やなどで開催された。

同会は、人吉市出身で東京都在住の秋山浩

最優秀を3つ獲得するの初めてで、卓越した水準を持つ施設と言える」と評価した。

なお、今後も評価を継続するため1年以内と3年後に1回ずつ調査を受ける。龍生園の高村龍子総合施設長は「認証いただいた質の高さを継続し、向上できるよう職員で力を合わせていきたい」と思いを新たにしていた。

幸氏が代表を務める球磨・人吉を盛り立てたい」と発足。今回はそのあさぎりのバージョン。

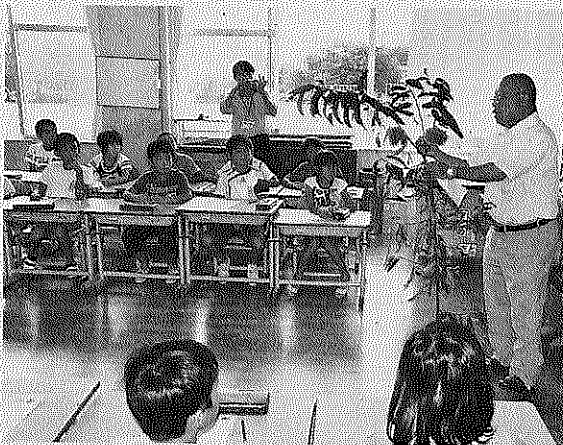
秋山代表が「人吉球磨を大都市圏にアピールする」と都市の活性化につなげていきたい」とあいさつ。来賓の徳田正吉相厚村長は「人吉球磨を故郷に持つ仲間感謝。郡市が

やぶ学の種類や歴史など

山田小生 勝原さんを招き

クリの産地として知られる山江村の山田小学校(藤本誠一校長)で14日、3年生を対象にしたクリに関する授

業「へいへの食の探検隊」があり、クリ農家の勝原さんらが村のクリの種類や歴史などについて講話した。保護者や地域住民らが学校生活や見学できる「山田小学校」に行こうというテーマに合わせて実施。総合的な学習の時間としてクリの収穫や調理など一連の流れを学ぶ。



児童にクリの説明をする勝原さん

に携わって以来、50年以上にわたって地元の名産品を世に送り出している第一人者。

授業は、児童が事前に出し合った質問に答

える形式で行い、勝原さんはクリ作りの取り組みを振り返りながら話を進め、熊本県の奨励品種や旬の時期、育ち方の違いなどを一つ一つ説明。

実際にクリの枝を持ち込み「クリの種はどんなもの?」という問いに対して、「いしが割って美を取り出してこれが種ですよ」と話すなど、児童たちは驚きの声を上げた。

最後に、勝原さんがクリの甘さが増すよう

う甘味法をうはメモを興味深く聞

◆あさぎり温泉へは、22日(土)に下演が予定されている。同劇団を呼び出すための片断めい